

令和7年度 議会報告会  
意見交換概要  
テーマ「より良い地域にするためには」

項目	要 旨
地域コミュニティ	遠山地区は御料牧場など日本の近代化の歴史が残る地区であるため、地区の方にもっと歴史を知ってもらえれば、意識も向上して良いコミュニティが形成できると思う
	地域コミュニティは、震災や災害などがあつた際に支え合うことができることから、非常に重要なものである。しかしながら、若年層は行事等には参加せず、コミュニティが崩れてしまっている
	「祭り」という言葉が地域住民に煩わしい、面倒くさいという印象を与えていると思う。地域でイベントやるということであれば、「祭り」という名前にするのではなく、名前から変えて印象を変える必要があるのではないか
	独居老人や障がい者、高齢者宅の庭の剪定や草刈りをボランティアではなく、行政に支援してもらえないかをお願いしているが、自治会長を通してほしいと言われ、聞いてもらえない
	約20年前は、自治会の加入率が高かったが、新たに移り住んできた方は加入しない。また、自分がトップになる前に早い段階で脱退する人も多く、加入率が低くなっているのが現状である
	個々の要望を聞いていると効率が悪いので、自治会で要望をまとめてほしいという市の考えは理解できるが、自治会の加入率が過半数を割っており、個人主義の時代になっているため、対応を考えてほしい
公共交通	子供が高校生になった時の駅までの交通手段について、コミュニティバスは安いが本数が少なく、乗車定員も限られている。JRバスを利用しているが定期券が月額約2万円と高額であり負担が大きい。子育て世代の利用者に対する補助があると助かるし、公共交通の利用者が増えるのではないか
	公共交通のワークショップに参加する際に、遠山中学校の保護者にアンケートを取らせてもらったところ、民間バスの値下げ、増便の要望が多かった
	空港方面への通勤車両により、バスの遅延が常態化しており、保護者が送迎しなければならない状況になっている。こういった不便さから高齢者の運転免許証の返納が進まずに、交通安全の問題も出てくるという悪循環に陥ってしまっている

令和7年度 議会報告会  
意見交換概要  
テーマ「より良い地域にするためには」

項目	要 旨
子育て	<p>子育てをしていると社会との接点が減っていき閉鎖的になってしまうので、子供を気軽に連れていける施設がもっとあれば良い</p>
	<p>子供を連れての移動は大変であるため、図書館の本館だけでなく、各地区の公民館などでも本の読み聞かせ等のイベントを行ってもらえると嬉しい</p>
	<p>子供の検診が保健福祉館で行われているが、地区によっては遠い。地区ごとに分けて、各地区の公共施設で実施するなど地域に向いてほしい</p>
	<p>加良部の子ども館をよく利用していたが、隣接する保健所の建替えの話があると聞いた。駐車場が使えなくなってしまうと保護者の負担になってしまう</p>
多様性社会	<p>外国人住民が毎月100人程度ずつ増加しており、このままいけば2年後には市の人口の1割が外国人となる。一方で子供の出生数が年々減少しており、多様化と少子化の2つの側面の対策を考えていかなくてはならないが、市としてどのように対応していくのかが見えてこない</p>
	<p>三里塚小学校には、日本語が全く話せない外国人の児童が一定数入学してくる。ただでさえ教員の人手が足りていない状況の中、その児童の個別対応をしなくてはならず教員の負担となり、加えて日本人の児童の対応がおろそかになってしまうのはいかがなものか</p>